

科目コード	A115
授業科目名	感染症学
授業科目名(英文)	Infectious Diseases
講義室等	6107
学科	看護学科
対象学年	1年
開講学期	後学期
必修・選択の別	必修
単位数	1
時間数	30
該当ディプロマ	◎看DP-2
該当コンピテンス	◎看CP-3、○看CP-4、△看CP-5
学科	
対象学年	
開講学期	
必修・選択の別	
単位数	
時間数	
該当ディプロマ	
該当コンピテンス	
担当教員	鈴木 克典
授業の概要	本講義は、看護職として必要不可欠な「感染症の基本的理解」と「感染症に対する看護の役割」、さらに現代社会において重要性が高まっている「One Health (人・動物・環境の健康の統合的視点)」について学ぶことを目的とする。感染症は単なる「病原体による病気」ではなく、患者の生活背景、社会環境、医療体制、動物・環境との関係性など、複合的な要因によって発生・拡大する現象である。本講義では、臨床感染症学の基礎を学ぶと同時に、看護職として感染症患者をどのように理解し、支援し、予防に関わるかを体系的に学修する。
授業の到達目標 (学修効果)	本講義の修了時に、学生は以下を達成できることを目標とする。 1. 感染症の成立機序(病原体・宿主・環境の相互作用)を説明できる 2. 主要な感染症の基本的な病態・感染経路・予防法を説明できる 3. 感染症患者に対する看護の視点と役割を理解できる 4. 医療関連感染対策の基本を理解し、看護職の責務を説明できる 5. One Healthの概念を理解し、感染症を社会・環境・動物との関係から捉えられる
予習復習の所要時間	講義時間32時間(2時間×1コマ×16回)+予習・復習13時間
成績評価方法	出席状況、実習の参加状況とその内容(10%)、筆記試験の成績(90%)で60点以上を合格とする。
教科書	岩田健太郎 川口鎮司 山口正雄 岩淵千太郎 大路剛 岡秀昭 上山伸也 滝口智子 角田こずえ 土井朝子 古谷直子 古屋洋子 細川直登 馬原美保子 南川雅子 山本舜悟 山本未央著:「系成人看護学[11]アレルギー 膠原病 感染症」第15版、2020年(医学書院) ISBN:978-4-260-03858-4
参考書	富家恵美子 著:「院内感染」(河出書房新社)(既蔵書) ISBN:978-4309006086 齋藤光正 著:「イラストでわかる微生物学超入門 病原微生物の感染のしくみ」改訂2版(南山堂) ISBN:978-4525163426 改訂3版 2023年
その他	本講義は、今後履修する「公衆衛生学」「基礎看護学」「地域・在宅看護学」「成人看護学」等の基盤となる科目であり、看護専門職としての感染症に対する基本的視座を養う導入科目である。

非常勤講師(学内：1 学外：2)

回	年月日	曜日	時限	授業項目	授業の形態	講師	非常勤	備考
1	R8.9.29	火	II	感染症とはどのような疾患か(細菌、真菌、原虫、ウイルス、プリオン)	講義	鈴木 克典	1	
				予習 教科書第1章を読んでおくこと。教科書と講義プリントを参考に最重要ポイントを解答しておくこと。				
				復習 講義プリントと最重要ポイントを復習する。				
2	R8.10.6	火	II	感染症とはどのような疾患か(感染源、感染経路、感染の機構)	講義	鈴木 克典	1	
				予習 教科書第2章を読んでおくこと。教科書と講義プリントを参考に最重要ポイントを解答しておくこと。				
				復習 講義プリントと最重要ポイントを復習する。				
3	R8.10.13	火	II	感染症とはどのような疾患か(感染の病態生理、感染症で見られる症状)	講義	鈴木 克典	1	
				予習 教科書第2章を読んでおくこと。教科書と講義プリントを参考に最重要ポイントを解答しておくこと。				
				復習 講義プリントと最重要ポイントを復習する。				
4	R8.10.20	火	II	感染症の検査と診断	講義	鈴木 克典	1	
				予習 教科書第3章を読んでおくこと。教科書と講義プリントを参考に最重要ポイントを解答しておくこと。				
				復習 講義プリントと最重要ポイントを復習する。				
5	R8.10.27	火	II	感染症の治療	講義	鈴木 克典	1	
				予習 教科書第4章を読んでおくこと。				
				復習 講義プリントと最重要ポイントを復習する。				
6	R8.11.10	火	II	感染症の理解(A 発熱・不明熱、B 上気道感染症、C下気道感染症)	講義	鈴木 克典	1	
				予習 教科書第5章を読んでおくこと。				
				復習 講義プリントと最重要ポイントを復習する。				
7	R8.11.17	火	II	感染症の理解(D 心血管系感染症、E 消化器感染症、F 肝胆道系感染症)	講義	鈴木 克典	1	
				予習 教科書第5章を読んでおくこと。教科書と講義プリントを参考に最重要ポイントを解答しておくこと。				
				復習 講義プリントと最重要ポイントを復習する。				
8	R8.11.24	火	II	感染症の理解(G 尿路感染症、H 性感染症、I 皮膚軟部組織感染症)	講義	鈴木 克典	1	
				予習 教科書第5章を読んでおくこと。教科書と講義プリントを参考に最重要ポイントを解答しておくこと。				
				復習 講義プリントと最重要ポイントを復習する。				
9	R8.12.8	火	II	感染症の理解(J 眼の感染症、K 中枢神経感染症、L 悪性腫瘍、造血幹細胞移植、固形臓器移植に伴う感染症、M 菌血症・敗血症)	講義	鈴木 克典	1	
				予習 教科書第5章を読んでおくこと。教科書と講義プリントを参考に最重要ポイントを解答しておくこと。				
				復習 講義プリントと最重要ポイントを復習する。				
10	R8.12.15	火	II	感染症の理解(N 人動物咬傷、O 麻しん・風しん・水痘、P 真菌感染症)	講義	鈴木 克典	1	
				予習 教科書第5章を読んでおくこと。教科書と講義プリントを参考に最重要ポイントを解答しておくこと。				
				復習 講義プリントと最重要ポイントを復習する。				

回	年月日	曜日	時限	授業項目	授業の形態	講師	非常勤	備考
11	R8.12.22	火	II	感染症の理解 (Q 寄生虫感染症・ワンヘルスの概念)	講義	鈴木 克典	1	
				予習 教科書第5章を読んでおくこと。 教科書と講義プリントを参考に最重要ポイントを解答しておくこと。				
				復習 講義プリントと最重要ポイントを復習する。				
12	R9.1.5	火	I	感染症の理解 (R HIV感染症と日和見感染症、S 多剤耐性菌感染症)	講義	鈴木 克典	1	
				予習 教科書第5章を読んでおくこと。 教科書と講義プリントを参考に最重要ポイントを解答しておくこと。				
				復習 講義プリントと最重要ポイントを復習する。				
13	R9.1.5	火	II	院内感染対策・専門看護師、認定看護師というお仕事	講義	鈴木 克典	1	
				予習 教科書第6章を読んでおくこと。 教科書と講義プリントを参考に最重要ポイントを解答しておくこと。				
				復習 講義プリントと最重要ポイントを復習する。				
14	R9.1.12	火	I	実習Ⅰ (スタンダードプレコーションと感染経路別対策)、院内感染と感染予防対策	講義・実習	鈴木 克典	1	
				予習 教科書第6章を読んでおくこと。 教科書と講義プリントを参考に最重要ポイントを解答しておくこと。				
				復習 講義プリントと最重要ポイントを復習する。				
15	R9.1.12	火	II	実習Ⅱ (スタンダードプレコーションと感染経路別対策)、院内感染と感染予防対策	講義・実習	鈴木 克典	1	
				予習 教科書第6章を読んでおくこと。 教科書と講義プリントを参考に最重要ポイントを解答しておくこと。				
				復習 講義プリントと最重要ポイントを復習する。				